



〒892-0841 鹿兒島市照国町13-42 カトリック鹿兒島司教区 電話099 (226) 5100 振込口座 02030-2-8359 編集発行 教区広報部 1部60円年間千共1100円



2014年 年頭教書

なれかしの心で家庭教会づくり

鹿兒島教区長 郡山健次郎



教区のみなさん、新年あけましておめでとうござい... 今年もどうぞよろしくお願いたします。新しい年をいかがお迎えでしょう。

教皇フランシスコとともに 今年、と言っても、少し先のことになります。十月に臨時の世界代表司教総会(シノドス)が開催されます。扱う問題は家庭のことです。昨年、準備のため...

のいくつかの質問が各司教に送られてきました。「家庭に家庭教会として...」の自覚をもつと持たせるにはどのようすればよいですか? 「家庭での祈り方を...」

たということ、かつてのカトリック国をはじめ、世界各地で家庭での祈りがな... 報告が多数寄せられている証拠です。それは、人生の学校と言われる家庭がもはや信仰養成と伝達の場合として機能していないのではな...

家庭教会への道

とここで、私たち鹿兒島の現状はどうなのでしょう。か。「家庭教会」と聞いてどんな感想をお持ちでしょうか。一人住まいの人だけ...

教会はみんなが集まって神様を賛美し礼拝するところ... 主の日として復活を記念し、祝うのです。同じように、毎日、ミサが捧げられるこ...

とを除いて、信者の家庭でもいろいろの祈りが捧げられます。どんなに苦しいことに遭遇しても、心を静めて神様の計らいを思い、神様に聞こうとするとき、十字架の主と共に復活への道を歩んでいることになりま...

イエス様のなれかし

家庭教会になるという時、もう一つ大切なことがあります。マリア様の「なれかし」です。この「なれかし」から全人類の救い...

継がれた復活に至る秘密の... 希望こそ、主の死と復活を祝う信者のしるしだからです。

言葉だったのです。

「父よ、できることなら、この杯をわたしから過ぎ去らせてください。しかし、わたしの願いどおりではなく、御心のままに」(マタイ26・39)というゲッセマ...

この時の心細さはかつて経験したことのないほどのもの... 誰をも恨むことなく、不条理の死を甘受された主のこの高邁な姿こそ洗礼を受けた私たちがし...

共に歩む司祭たち 2014年

- 司教 郡山健次郎
名譽司教 糸永真一
司教総代理 小川靖忠
「教区司祭団」 J・タム(瀬留)、
柄尾泰英(大熊)、永山幸弘、大野和夫(聖心)、G・ティエン(小宿)、小隈憲士(鹿屋)、O・ベルナルディノ(志布志)、坂本進(溝辺)、牧山田一(吉野)、寝占敦之(教区本部・玉里)、P・アン、鄭法鐘(ザビエル)、泉浩二、宋診旭(鴨池)、竹山昭(紫原)、J・サントス(加世田)、小川靖忠(指宿)、鈴木康

私的ななれかし 個人的な体験になります... 小教区にいた頃のことです。ある時期、夜寝ている間の自分の心臓は外で動いているのではないかと思...

みんなのなれかし 自慢話めいてきました... 幸いなことに、これまでの八年間であれほどの苦しい思いをしたことはまだありません。そうは言っても、私の苦しみは、血の汗を流された主の苦しみに比べたら取るに足りないものです。そういう意味では、みなさんに分かち合うほどのことではないかもしれませ...

今年も祈りの中で 新しい年も、祈る小教区、祈る家庭教会を目指しまし... 主と共に生きる人生の喜びと希望をもたらし、主のミサを大切にしましよ... 不平不満とは無縁の小教区を目指しましょう。

ません。現在も出口の見えない難問を抱えているかもしれない。そんなとき、「先ずみんなを祈ろう」という気持ちになるなら、それだけで家庭教会を生きていることになりま...

# 十年後の奄美の教会の希望を探る 信仰年奄美地区信徒大会を終えて

## 奄美地区宣教司牧を考える会リポート

「信仰年の恵みを受けて、十年後の奄美地区カトリック教会に希望を見出せる信徒大会を！新しい何かを！」と、奄美地区宣教司牧を考える会主催「信仰年奄美地区信徒大会」が開催された。

これに先立ち地区の全小教区では「ゆるしの秘跡」が行われ、回心の恵みを頂き心の準備をした。

十一月三日（日）、名瀬聖心教会の聖堂は、郡山健次郎司教様をお迎えして、奄美地区すべての小教区・修道会の参加者で満席となった。

総合同会は、青少年司牧委員会が担当、開会では全員で「信仰年」公式聖歌「クレド・ドミネ（主よ、わたしは信じます）」が歌われ、神聖さをもって聖堂いっぱい歌声が響き渡った。



司教様、神父様方、シスター方、そして、イエスキリストにおける兄弟・姉妹の皆様、私は今日、鹿兒島カテドラル・ザビエル教会でこうして皆様と一緒ミサをささげることができ、光栄に思います。

今日は「待降節第二の主日」です。クリスマスまで二週間余りとなりました。今日の福音には洗礼者聖ヨ

が深まり、証になつていく。信徒を代表して、平敬司氏（聖心教会信徒会長）が開会の挨拶をし、今大会の主要部分である各小教区・修道女連盟・青少年司牧の九団体による発表へと進んだ。

この発表は、各団体で大きな課題を選び、全体で話し合い、実際に取り組んだ体験や実り、今後に向けての計画などを約五分間の時間設定で分かち合うものとなり、とても豊かな分かち合いとなった。

- ① 主な内容は次の通り。
- ② 四教会の役員・壮年会・婦人会組織を一本化に編成。一致団結度が増し、豊かな活動内容になった。
- ③ 年間テーマを家族の信仰と宣教とし、小教区全体の分かち合いを重ねた。小教区家族の相互の関係
- ④ ハネが登場します。彼の生活は清貧そのものでした。「ヨハネは身にラクダの毛衣をまとい、腰には皮の帯を締めていた。食べ物はいなごと野蜜であった。」とある通りです。彼は、ユダヤ
- ⑤ 祈りの集い・み言葉の分かち合いによる回心の恵み。幼稚園職員・園児への信仰伝達。
- ⑥ 家庭での信仰生活と教会学校の連なり。具体的な取り組み。
- ⑦ 来島者の受け入れ拠点としての可能性。おせっかい隊（班単位の助け合い）発足。市民講座の周知と充実。
- ⑧ 祈りの集い・み言葉の分かち合いによる回心の恵み。幼稚園職員・園児への信仰伝達。
- ⑨ 家庭での信仰生活と教会学校の連なり。具体的な取り組み。

ハネが登場します。彼の生活は清貧そのものでした。「ヨハネは身にラクダの毛衣をまとい、腰には皮の帯を締めていた。食べ物はいなごと野蜜であった。」とある通りです。彼は、ユダヤ

## 鹿兒島カテドラル・ザビエル教会での説教 力強く福音を伝えて行きましょう

### 駐日教皇大使 ジョゼフ・チエノツトウ大司教

ヤの荒野野で教えを宣べ伝え「悔い改めよ。天の国は近づいた」と語ります。

どうして、ここまで彼は自信を持って語り、生活を律することができたのでしょうか。このことも、今日

救い主キリストの到来を知っていたのです。そして、その方がどんなに力ある方かも知っていました。

私たちも、キリストがどんなに力ある方で恵み溢れる方であるかを知っています。

合わせた豊かな体験や考察は、今後も継続される。

総括で永山神父は、前教皇様が信仰年に示された要点「信仰の再発見と新しい信仰への熱意」「キリスト

が深まり、証になつていく。信徒を代表して、平敬司氏（聖心教会信徒会長）が開会の挨拶をし、今大会の主要部分である各小教区・修道女連盟・青少年司牧の九団体による発表へと進んだ。

この発表は、各団体で大きな課題を選び、全体で話し合い、実際に取り組んだ体験や実り、今後に向けての計画などを約五分間の時間設定で分かち合うものとなり、とても豊かな分かち合いとなった。

- ① 主な内容は次の通り。
- ② 四教会の役員・壮年会・婦人会組織を一本化に編成。一致団結度が増し、豊かな活動内容になった。
- ③ 年間テーマを家族の信仰と宣教とし、小教区全体の分かち合いを重ねた。小教区家族の相互の関係
- ④ ハネが登場します。彼の生活は清貧そのものでした。「ヨハネは身にラクダの毛衣をまとい、腰には皮の帯を締めていた。食べ物はいなごと野蜜であった。」とある通りです。彼は、ユダヤ
- ⑤ 祈りの集い・み言葉の分かち合いによる回心の恵み。幼稚園職員・園児への信仰伝達。
- ⑥ 家庭での信仰生活と教会学校の連なり。具体的な取り組み。
- ⑦ 来島者の受け入れ拠点としての可能性。おせっかい隊（班単位の助け合い）発足。市民講座の周知と充実。
- ⑧ 祈りの集い・み言葉の分かち合いによる回心の恵み。幼稚園職員・園児への信仰伝達。
- ⑨ 家庭での信仰生活と教会学校の連なり。具体的な取り組み。

ハネが登場します。彼の生活は清貧そのものでした。「ヨハネは身にラクダの毛衣をまとい、腰には皮の帯を締めていた。食べ物はいなごと野蜜であった。」とある通りです。彼は、ユダヤ

## 教区財政正常化献金の廃止に向けて ～アンケート調査を実施～

たちの信仰が、人々の希望の証となるよう呼び掛けられた。

皆で拝領した御聖体に力付けられて、今大会に集つ

た人の信仰が、人々の希望の証となるよう呼び掛けられた。

皆で拝領した御聖体に力付けられて、今大会に集つ

### 「短信」

今年もシドツチ祭  
十一月二十三日（土）屋久島教会ではジョバンニ・パチスタ・シドツチ神父の功績を記念する「シドツチ祭」が行われ、町主催のセレモニーがあったほか郡山司教司式のミサがささげられた。

愛の泉のメンバーが中心となつて十一月二十三日（土）夜から翌朝まで、信仰年閉幕を記念したその実りを願う祈禱会がザビエル教会で行われた。

伴う献身にほかならない」と指摘しました。今、暗闇にいる多くの人に寄り添い、小さき人々をいつも大切に生きる方こそ真のキリスト者である。教皇は言いたいのです。皆様一緒に歩みましょう。多くの困難があつても教会と共に生きて行きましょう。そして、まだキリストを知らない多くのの人に伝えたいのです。「あなたを愛している方がいらつしやる。その方の名はキリストです」と。

最後にカテドラル教会に来て下さったすべての方に感謝いたします。私の心は皆様と一緒に。皆様のためにいつも祈ります。ありがとうございました。

最後にカテドラル教会に来て下さったすべての方に感謝いたします。私の心は皆様と一緒に。皆様のためにいつも祈ります。ありがとうございました。

# 優しい方でした駐日教皇大使

## 純心学園創立八十周年記念式典出席と教区の司牧訪問

駐日教皇大使ジョゼフ・チエノットゥ大司教が十二月六日(金)から三日間、鹿兒島教区を司牧訪問し、その気さくで温かい人柄で教区民と触れ

合った。チエノットゥ大司教は、聖フランシスコ・ザビエルがアジア宣教の拠点として活躍したインドはゴアに近いケララ州の出身の七十



子どもたちと握手を交わす教皇大使

年、一九六九年に司祭に叙階され、教会法博士でもある。司教に叙階されたのは一九九九年で、二〇〇五年から駐タンザニア教皇大使として活躍。日本には二〇一一年八月に着任している。今回の教皇大使の司牧訪問は鹿兒島純心女子学園(松下栄子理事長)の創立八十周年記念式典で感謝のミサをさ

イエス様のたとえの中にはちよつと常識では理解できないようなものが見られます。その代表例としてルカ福音書にある「不正な管理人」のたとえが挙げられます(16・11-13)。確かに、「主人は、この不正な管理人の抜け目のないやり方をほめた」という言葉から、どうして褒められるのか理解に苦しみます(16・8)。しかし、原文を分りやすく直訳すると「主人は、思慮深くしたと不正な管理人を褒めた」となります。つまり、日本語訳にある「やり方」という言葉が見当たらないのです。このことから、主人は管理人が証文を改竄したことを褒めたのではなく、自分の危機を感じて、すぐさま身の振り方を考え、そしてそれを実践したことを褒めた、と考えられるのです。

### 不正な管理人のたとえ

は、自分の仲間に対して、光の子よりも賢くふるまっている」と結ばれています(16・8)。このことから、神の国の福音という光に照らされた者はすぐにも悔い改め、神の国に相應しい者となりなさい、ということを知りたに語られていると考えられるのです。実はここまでがイエス様が語られた言葉であり、これ以降は後代の加筆と考えられています。福音書とは一人が最初から最後まで一気に書き上げたわけではありませぬ。現代に伝わっている聖書のすべては写本によってつくられていく過程のなかで、後代になりイエス様の言葉がよく分るものがあります。ではそれが行われた箇所をどのように特定するのでしょうか。その一つの手段として言葉の使われ方の違いに着目します。今回は、「不正」という言葉の使われ方の違いを通じて、後代の加筆部分として考えられている箇所を考えてみましょう(16・9-13)。

超える信者が駆けつけ、その穏やかで温かい人柄のチエノットゥ大司教のメッセージに聞き入っていた。【チエノットゥ大司教の説教は二面に掲載】ミサの終わりにセレモニがあり、郡山司教と野田健太郎さん(ザビエル教会信徒代表)が歓迎の挨拶をする。チエノットゥ大司教も「日本にキリスト教を伝えたザビエルが上陸した鹿兒島に来るのが望みだった。私は教皇フランシスコからの特別の祝福と言葉を送りたい」と挨拶した。そして教会学校の大勢の子どもたちが一人一本ずつ花を手渡すとそれらを丁寧を受け取り、優しく微笑み握手

### 修道会便り

▼沖永良部修道院閉鎖 聖心の布教姉妹会では、十月三十一日付けで沖永良部修道院(和泊町和泊)を閉鎖した。これで同会の教区における修道院は、徳之島修道院のみとなった。

### 聖ザベリオ宣教会

十一月の管区総会で役員改選があり、新管区長にコデノッティ・クラウディオ神父(貝塚教会主任)が就任した。

### 訃報

▼小隈得蔵さん 小隈憲士神父(鹿屋教会主任)の厳父・得蔵さんが十二月七日(土)午後、老衰のため亡くなった。九十六歳だった。得蔵さんの葬儀は、十二月九日(月)鹿屋市吾平町の「ルミエール肝属あいら」でしめやかに執り行われた。

▼ディーノ神父の令兄 十二月初めベルナルディーノ神父(志布志教会主任)の令兄ホセ・アタナンテエ・オローフォさんが肺炎のためフィリピンの自宅で亡くなった。六十二歳だった。アタナンテエさんの葬儀は十二月九日(月)アルバイ州ギノバタンの聖母被昇天教会で執り行われた。

**+KABAYAN SEKSIYON+**  
**Abba: Pagkakakilanlan kay Hesus**  
 Marami sa mga kredo ng mga Kristiyano ang tumatawag sa Diyos bilang "ang Ama, ang makapangyarihan sa lahat." Ang pagtukoy sa Diyos bilang "Ama" ay isang personal na pagtawag, pagsasaysay sa kanyang malasakit para sa lahat ng sangnilikha, lalo na sa lahat ng tao.

Ang pagkalinga ng Diyos sa kanyang bayan na tulad ng isang ama ay matatagpuan sa Matandang Tipan (Dt.7:6-9); datapuwa't inihahayag ni Hesus ang isang ganap na kakaiba at malalim na kahulugan sa pagtawag sa Diyos na "Ama". Tinatawag na Ama ang Diyos 170 ulit sa mga Ebanghelyo (Marcos (4); Lucas (15); Mateo (42); Juan (109)).

Ang pagiging Ama ng Diyos ay isang malinaw na batayan ng buhay at panalangin ni Hesus. Kadalasang nagdarasal si Hesus sa kanyang Abba. Tinatawag niya ang Diyos na "aking Ama" (Mt.11:26; Lc 10:21). Ang kanyang misyon ay mula sa Ama (Jn 11:41-42). Sa Huling Hapunan nakipag-usap siya sa kanyang Abba sa mga matitinding sandal sa kanyang buhay: Getsemani (Mc 14:36; Mt.26:42), Kalbaryo (Lc 23:34). Ang kanyang mga huling salita ay "Ama, sa mga kamay mo ay ipinagtatagubilin ko ang aking espiritu" (Lc 23:46).

Sa medaling sabi ang kamalayan ni Hesus ukol sa kanyang Abba ay nagpapakita sa kanyang identidad bilang tunay na Anak ng Diyos-isang batayang katuruan ng pananampalatayang Kristiyano.

Salubungin natin ang darating na bagong Taon 2014 ng punong-puno ng pag-asa at kagalakan.

**Katesismo sa "Taon ng Pananampalataya (Fr.Dino Orolfo)**

### 会と催し (1月)

- 1日(水) 神の母聖マリア
- 4日(土) 七田八十吉神父命日(一九八〇年)
- 5日(日) ルカ神父命日(一九九八年)
- 7日(火) 主の公現
- 9日(木) 教区司祭会・教区本部・16時
- 11日(土) 盛克志神父霊名(聖ライムンド)
- 12日(日) ハイシク神父命日(一九八九年)
- 14日(火) 主の洗礼
- 18日(土) 永島泰藏神父命日(二〇〇二年)
- 19日(日) キリスト教一致祈祷週間・25日
- 21日(火) 年間第二主日
- 25日(土) キリスト教一致祈祷集會・ザビエル教会・14時
- 26日(日) 教区巡礼委員会・教区本部・19時
- 27日(月) 郡山健次郎司教霊名
- 27日(月) 年間第三主日
- 27日(月) カトリック児童福祉の日
- 27日(月) フェリエ神父命日(一九一九年)
- 27日(月) オリブの会・教区本部・14時
- 27日(月) 司祭評議会・教区本部・13時30分
- 30日(木) 市・30日まで
- 30日(木) 定例司祭集會

祈りの意向  
【ノベナ】「司祭大会」に向けて司祭のために(22日) 祈りの使徒云一  
【祈祷の使徒云一】 宣 教・経済発展 日本教会・いのちの尊厳

一 江戸のキリシタン・曲直瀬道三（まなせどうざん）

江戸のキリシタンとして知られる人に、江戸丸の内道三町にあった道三屋敷に住む、医師として名高かつた曲直瀬（まなせ）道三（一五〇七〜一五九五）が挙げられます。彼は足利將軍義輝に拝謁し、毛利元就も治療しています。豊臣秀吉、家康も彼を敬重して、千利休から茶を学び、茶人としても知られていたのです。彼は一五八四年（天正十二年）、伴天連フイゲレイドから受洗し、その弟子八百人も同時に信仰に入ったと言われています。朝廷は、道三の改宗を惜しみ、思いとどまるよう御沙汰をしたのですが、道三は棄教しませんでした。

（一四）が登場してきます。

三 原主水（はらもんど）

江戸で活躍した伴天連として最も著名な宣教師は、フランシスコ会士ルイス・ソテロ神父です。彼は日本宣教のために、時の権力者である徳川家康にまず近づきました。家康がキリシタンを受容する気がないのを知ると、未だ天下取りをあきらめていなかった東北の勇・伊達政宗に近づき、政宗の天下取りに協力するかわりに布教を推進することを約束させたのです。政宗の娘でキリシタンになっていた「いろは姫」を家康の子・忠輝に嫁がせ、イスパニアなどの外国勢力を政宗の協力者とさせ、徳川を打倒せんとする目的を持って

でござれば、我が罪のあがない主であられる救世主イエズス・キリストのため、生命を捧げるところでござる。キリストは誠に永遠の救いにましますぞ」（助野健太郎編『きりしたんの愛と死 下』）

は、ここで四十年を過ごし、清らかな魂を天に返したと伝えられています。最近、別の説も有力になってきています。それは『韓国とキリスト教』（二〇一二年）を著されたキリシタン研究家の浅見雅一、安廷苑両教授が指摘されている説によつてです。

が、キリシタン禁教令に逆らうジュリアを罰さないわけにはいかなくなり、遂に流刑に処したのです。そのジュリアが流刑地の神津島で死ぬまでの四十年の生涯を過ごしたのか、許されて本土に戻るに至ったのか、どちらなのかはよく分かりません。しかし、それがどちらかだったかは、それほど重要ではありません。ジュリアが権力者である家康に立ち向かい、信仰を選んで処罰を受け、信仰の生涯を全うしていったことに変わりはないのです。

場所を「yan yo su tin」、「Yae san chi」やえすぐち「八重洲口」と、命名したのと似ています。江戸の切支丹としては、原水人と共に知られているのが小笠原権之丞です。家康の鉄砲組頭となり駿府で六千石を給されていた。その洗礼名がディダクであったので、品行方正の者を「ディダク」のようだと呼んだそうです。彼は、はじめその部下を三人くらいしか信者にできませんでしたが、やがて彼の感化によつて三百人も部下を信者にならせたのです。私たちはどのくらいの人に感化を与え、信者に行き届くでしょうか。彼は自己の領地に、高山右近のように教会を建て、聖母信心会を興し、外国人宣教師を招き、伝道活動を行ったのです。彼の兄弟姉妹・妻子、熱心な信徒であった母親をも改宗させました。家康が切支丹禁教令を出したのを聞いた時、神父のもとに行き懺悔をなし、自分も殉教の苦難にあずかることを祈ったと言われています。自分が不利になるのが分かっていて、利になるのが分かっていて望む。そのような確信に満ちた信者になっていきたく

# 江戸のキリシタン

キリシタンの歴史②⑤

溝辺教会主任司祭 坂本 進

彼は、朝廷からの棄教勸告に従わず信仰を全うさせた反面、外国宣教師たちが、「日本の神仏は悪魔である」と言って攻撃したことに対し、「神々や仏陀を礼拝することは迷信であるが、祖先や偉人を尊敬することを攻撃することは、不当である」として、礼拝することと尊敬することを区別させ、その別を宣教師たちに認めさせた、とも言われています。

て、支倉常長を遣欧使節としてローマ・イスパニアなどに派遣させたのです。しかし、常長が帰って来た時にはキリシタン禁教令が強化され、徳川政権そのものが盤石なものとなつており、政宗の天下取りは夢と消え去つていたのです。ローマでキリシタンとなつた常長を政宗は、ローマでキリシタンとなつたことに対する恩賞を取らせるどころか、閉門逼塞処分にさせざるをえませんでした。常長が死ぬや息子たちには切腹を命じさせています。

「拙者はかつて大御所（家康）さまの旗下にその人ありと知られた原主水でござる。かねて異教の迷信を慨し、長く追放の苦しみを受けつつも、キリシタンの道に入り、今日の火あぶりを待ち受け申した。これただ独り救霊に導きくださるこの教えの真のあかしを立てるためにすぎ申さず。拙者の指と足の筋は切られ申しましたが、この手足こそ、拙者の行先を指す何よりの目印

る。次に成人男子が、女子の目の前で、虐殺され、死骸が磔刑に処せられた。やがて、死体もろとも、生き残っている者すべてが、火で焼き殺されたのである」（同書）

原主水はこのような極刑に処せられても信仰を守り永遠の救いを選んだのです。キリシタン信仰は主水達にとつて、生命を犠牲にしても守るべく価値のあるものであったのです。私たちが主水と同じように生きていきたいですね。

五 小笠原権之丞  
江戸の切支丹としては、織田信長の弟・織田有楽斎（うらくさい）の名も挙げられます。信長の嫡孫・秀信も切支丹大名でした。しかし、二人とも武将としても信仰者としても評価は高くありません。有楽斎が住んでいたのも、その場所が、東京駅の隣の駅でもある有楽町となつたわけですから。これは家康の外交顧問であったオランダ人、ヤン・ヨーステインがなまつて、その

岡前教会 泉 克枝  
泣いている  
鹿兒島純心 川上 和  
上方の姪の送りしクリスマスカード幾度も眺めつつイブを祝ひぬ  
も眺めつつイブを祝ひぬ  
祭壇に誓ひし二人を言祝ぎて歌声響く「アヴェ・マリア」の

## 文芸

### 俳句

純心学園 山頭 信子  
鹿兒島純心 川上 和  
鹿兒島市 徳永ノブ子  
鹿見島純心 川上 和  
上方の姪の送りしクリスマスカード幾度も眺めつつイブを祝ひぬ  
も眺めつつイブを祝ひぬ  
祭壇に誓ひし二人を言祝ぎて歌声響く「アヴェ・マリア」の

### 短歌

鹿見島純心 川上 和  
上方の姪の送りしクリスマスカード幾度も眺めつつイブを祝ひぬ  
も眺めつつイブを祝ひぬ  
祭壇に誓ひし二人を言祝ぎて歌声響く「アヴェ・マリア」の

秀吉はキリシタン禁教令を出していたのですが、道三に手を触れることはしませんでした。彼は一五九五年（文禄四年）、数百人の門人に囲まれながら、八十九歳の高齢の生涯を全うしました。医師として、足利將軍、織田信長、豊臣秀吉、そして江戸の主となつた徳川家康に仕えたのです。道三の後に『養生訓』で著名な日本におけるホリスティック医学の祖と言われる貝原益軒（一六三〇〜一七

布教への情熱を燃やした炎の宣教師ソテロ神父も、キリシタン禁教令が強化されていくに及び一六二四年（寛永元年）、ついに刑死、殉教しています。

四 おたあジュリア  
さて、江戸のキリシタンというおたあジュリアのことを忘れることができません。江戸の伊豆諸島の神津島に流されたジュリア

は、ここで四十年を過ごし、清らかな魂を天に返したと伝えられています。最近、別の説も有力になってきています。それは『韓国とキリスト教』（二〇一二年）を著されたキリシタン研究家の浅見雅一、安廷苑両教授が指摘されている説によつてです。

が、キリシタン禁教令に逆らうジュリアを罰さないわけにはいかなくなり、遂に流刑に処したのです。そのジュリアが流刑地の神津島で死ぬまでの四十年の生涯を過ごしたのか、許されて本土に戻るに至ったのか、どちらなのかはよく分かりません。しかし、それがどちらかだったかは、それほど重要ではありません。ジュリアが権力者である家康に立ち向かい、信仰を選んで処罰を受け、信仰の生涯を全うしていったことに変わりはないのです。

五 小笠原権之丞  
江戸の切支丹としては、織田信長の弟・織田有楽斎（うらくさい）の名も挙げられます。信長の嫡孫・秀信も切支丹大名でした。しかし、二人とも武将としても信仰者としても評価は高くありません。有楽斎が住んでいたのも、その場所が、東京駅の隣の駅でもある有楽町となつたわけですから。これは家康の外交顧問であったオランダ人、ヤン・ヨーステインがなまつて、その

岡前教会 泉 克枝  
泣いている  
鹿兒島純心 川上 和  
上方の姪の送りしクリスマスカード幾度も眺めつつイブを祝ひぬ  
も眺めつつイブを祝ひぬ  
祭壇に誓ひし二人を言祝ぎて歌声響く「アヴェ・マリア」の